横須賀災害ボランティアネットワーク　1月運営委員会　（2023年度）

議事録　　日時：令和6年1月9日(火)18時～

※赤字は会議での意見、調整結果等　　場所：総合福祉会館2階（第2会議室）

*報告期間　12月12日（火）～1月8日（月）まで

令和6年能登半島地震状況（人的被害　1月6日時点）

	死者	行方不明者	安否不明者	重軽傷者	避難者	
石川県	126	1	210	516	30,733	
その他	0	0	0	98	177	富山、新潟、福井、愛知、岐阜、大阪、兵庫

1.横須賀災害ボランティアネットワーク関連事項

（1）12月度運営委員会(12月12日)　　**出席者：14名**

出席者：　岩間、清水、濱田、鈴木順、伊藤、鷹野、萩原、中井、石井、桐山、大倉、沼崎
市福祉総務栗原係長、事務局（松尾所長）　※オブザーバー参加　1名（井森）

1月度運営員会出席者　　**出席者：15名**

岩間、清水、濱田、鈴木順、伊藤、鷹野、石井、桐山、武藤、鬼塚、桐山
市福祉総務栗原係長、事務局（松尾所長）　※オブザーバー参加　2名（井森、竹内）

（2）会員状況報告・・・2024.1.1現在
会員70名(個人58名・団体12)　　協力会員　9名

2. 主な活動報告・予定

（1）災害時ボランティアセンター設置運営マニュアル改訂関係
改訂作業中

（2）ホームページ関係
自主訓練実施（1/4に中止掲載）、防災を考えるつどい開催を掲載
FBページ更新(武藤さん)
自主訓練代替行事、会報掲載は随時更新する。

（3）会報発行関係
第2号発行予定状況報告
A4判4ページ、内容につき意見等修正の上、印刷、発送する。

（4）今後の行事関係
①　2024年1月13日（土）　緊急時参集訓練（街歩き）について
能登半島地震の被災地支援対策（県、県社協、県共募、KSVN）を優先するため中止とする。
代替行事として、YSVNとして、令和6年能登半島地震義援金募金活動を行うこととした。
1月20日（土）9:30～11:30　横須賀中央駅Yデッキで実施。
道路使用許可申請は事務局が担当する。掲示、募金箱等必要備品は事前に準備する。

② 2024年1月20日（土） 防災を考えるつどいについて

13:30～15:00 5階視聴覚研修室　　募集人員：先着50名

午前中を義援金募金活動に割り当てる。社協から共同募金会を通じて被災者へ届ける。

9:00　備品（看板、旗、募金箱等）運搬、会館2階集合　　担当：岩間、濱田、清水

9:30　活動参加者集合　横須賀中央駅Yデッキ側改札口前。

鈴木順、石井、桐山、武藤、鬼塚、井森　※オレンジ色ビブス着用

9:30～11:30　　募金活動　　11:30終了、撤収

12：00集合、会場設営等準備　13：00受付開始　　※昼食は適宜とってください。

参加予定：

岩間、濱田、清水、~~鈴木孝~~、鈴木順、~~萩原、石~~井、鷹野、沼崎、桐山、武藤、井森、鬼塚

役割分担：　挨拶：岩間、　全体進行：濱田、　質疑応用・まとめ：濱田

記録：武藤、　受付：鈴木順、ほか1名

③のたろんフェアに展示参加

2月10日（土）・11日（日）　市民活動センター　　展示物作成は、鈴木孝が担当

各自自由に参加、見学してください。展示準備状況は別途確認。

（5）団体会員とのSVC運営支援体制構築関係

引き続きアプローチし、顔の見える関係づくりに努める

（6）イオン黄色いレシートキャンペーン活動関係　（基本　13：00～14：00）

都合の悪い場合は交代して、出られる人が出られるときに活動する。

時間については、前もって相談して調整がつけば10:00～16：00の間で変更可能。

自家用車利用者は、帰りにキャンペーングッズを返し守衛さんに伝えて駐車券をもらう。

1月11日（木）　鈴木順　　13：00～14：00

2月11日（日）　伊藤　　未定

3月担当は2月運営員会で調整する。

（7）KSVN関係

①能登半島地震被災地支援関係（報告、予定）

1/4、JVOAD主催の情報共有会議（KSVNから役員が出席）　全国より約400名が参加

情報共有会議報告内容は、別添資料に基づき説明。

1/8、KSVN被災地支援検討会議（KSVN役員+被災地支援委員会）

KSVNは義援金募金活動を開始、ボラバス派遣は被災地の状況から当面様子見。

1/12、4者（県、県社協、県共募、KSVN）連絡会議（KSVNから役員が出席）

県、県社協、県共募、KSVN連名で募金箱を県サポセン1階に設置することとした。（1/12）

1/15、KSVN支援室委員会会議（KSVN役員+支援室委員会委員）

②震災対策技術展に出展　　KSVNは活動展示とSVC運営ICT活用の体験デモ実施予定

2月8日（木）～9日（金）　パシフィコ横浜Dホール

参加希望者は主催者ホームページより入場券を入手してください。

HPアドレス：https://clk.nxlk.jp/m/EkiMufc0D　または「震災対策技術展」で検索

能登半島地震発生後でもあり相当の混雑が予想されます。

（8）令和6年賀詞交歓会

1月5日（金） 社会福祉協議会（各団体より参加者1名）出席：岩間代表

1月17日（水）青年会議所　　出席：濱田副代表

12月までYSVN運営委員を務めた須藤さんが横須賀青年会議所理事長に就任。

1月以降の須藤さんの代わりは調整中。

（9）三浦半島地区ネット交流会（YSVNが当番）

1月18日（木） 15：00～16：30　情報交換会、交流会（ICT化の進捗状況等）

17:00～19：00　懇親会を予定

参加者：　岩間、濱田、石井、鈴木順、鷹野

逗子、葉山、三浦の出席者確認中。

3. その他

（1）運営委員からの報告・連絡事項

会計担当より、活動に関する領収書、請求書の類は期末に向け、確実に提出をお願いします。

会報第2号内容について、引き続き話し合い、修正箇所を決めた。

（2）事務局からの報告・連絡事項

全国社協ホームページ掲載の能登半島地震関連で石川県及び周辺地域の災害ボラセン開設状況、ボランティア募集状況等の説明があった。

（開設されても募集はしていない、ボランティア募集は県内市内に限定、事前登録制となっている。）

以上

・2月運営委員会　2月13日（火）18時～　2階　第2会議室　　担当：濱田（司会・資料作成）

１月運営委員会資料

令和６年能登半島地震　被災状況

2024 年 1 月 9 日　清水

JVOAD が主催した情報共有会議での出席団体からの報告（抜粋）を共有します。

第１回石川県 情報共有会議
開催日時：　2024 年 1 月 4 日（木）19:00～20：30　　オンライン会議
出席者：約４００名（内閣府、石川県他各地域行政・社協、中間組織、民間ボランティア団体、民間企業、神奈川県、県社協、県共募、KSVN、みんかな等）

１．被災状況

（１）被災地

珠洲市 津波被害 大。
石川県内道路事情は悪い、寸断、一方通行規制、通行止め。
七尾から穴水までのルートが昼間渋滞、
まずはインフラ。道が進まないと効率が悪く感じる。
携帯電話が通じない。住民も支援者も情報を欲している。

（２）被災者

安全が保てていない。不審者。悪徳商法。盗難、窃盗。
支援で入っている団体は、被災された方が不安にならないような措置（腕章など）を考慮。
水、食事滞っている。 特にトイレの状況が悪い。
物資が届かない孤立集落が多い。
金沢弁護士会では被災者向け法律相談を始めています。
避難所、在宅、車中泊も厳しい状況。

２．避難所

・能登町 ６０箇所 自主避難所 含む 一番多いところで７００人が避難、インドネシア人４０人いる。
・物資不足。 配布 おにぎり１個 程度。 支援物資、トイレ、水 不足。
役場の職員からの情報。段ボールベッドは見られない。 床で寝ている。
・珠洲市 避難所＋指定外避難所、車中泊
市から水、食料品含めた物資が届いていない。
毛布 不足。 毛布 １人１枚 寒くて眠れない。 風邪をひきそう。
・避難所 過密状態。 衛生的に悪い状況。 水、電気、ない。
ビニールハウスで避難生活されている方もいる。
・大きな町は行政の方はいるが、中小規模の地域は、行政の方が見られない。

市の職員が被災していて避難者になっている。

・物資のリクエストができない。市に電話が繋がらない。ガソリンが無いので、アクセスできない。避難所のリーダー不在のため、運営が 厳しい。
孤立無援状態 近隣が孤立状態になっている。

・輪島 断水継続。 通電は少数。避難所 ていを成していない。

・車中泊の場所は？
→各地におられる。ガソリン節約のため、暖房を遣わずに、低体温症やエコノミークラス症候群が懸念される。カイロの支援物資は見られない。

・避難所巡回 ペットの情報を聞き取り。 ペットを連れてきた場合は、一緒に過ごせるようにしている。環境を整えるノウハウが難しい。ペットを屋内に入れる環境整備支援を行っている。

・障害福祉施設 衛生用品、飲料品の支援 調査ができていない。 報告もない。
ニーズは携帯用のトイレ、飲料水、食料、衛生用品不足。

・今後、食料の不足やアレルギーの悪化などが増えると思います。
炊き出し時のお願い
アレルギー・宗教・疾患が或る方には商品の包装パッケージ裏の原材料表示を確認することが必須となります。

３．支援活動、ボランティア活動（SVN 設置運営状況）

・サイボウズのメンバーが災害対応として、県庁に入る予定。

・県社協は職員派遣は行うが、県域の支援物資の調整は、県社協は行わない。
kintone を導入して各センターで運営していく準備を進めている。

・奥能登では一般ボランティアを始められない状況。
加賀地域など、比較的被害が少ない地域から始まっていくと思われる。
ボランティアの仕事を続けていくことに人的な点など不安を抱えており、専門性のある団体のチカラを必要としている。

・企業、団体からのまとまった規模の義援物資を受け付けています。
※被災地への直接の搬入は、交通渋滞等により救命活動等の妨げとなる場合があるのでお控えください。
※仕分け等の手間を考慮し、個人からの提供は受け付けない

・政府としての課題　断水、停電、電波の状況も悪い。自治体も被災者の状況を判断することが難しい。避難者の生活環境の改善。
行政と支援団体の連携を示していきたい。県からの腕章の提供など、行政と民間支援が連携していることを見せることも大切。

以上